

Interview



安城市

碧海信用金庫



📍 本社所在地 / 安城市御幸本町15番1号

🔍 業務内容 / 金融業

👤 従業員数 / 1298人(男性696人・女性602人)

営業職の育成と両立支援で女性が定着、 管理職も増える！

🗨️ 海津さんにお聞きします。

Q

女性活躍推進法の施行に合わせて女性活躍に取り組んだと伺いました。当時はどんな課題がありましたか？

当時の課題として、①男女の継続勤務年数に差があること、②管理職に占める女性割合が低く、また、目指す女性も少ないこと、③営業担当の職務に配置される女性の割合が低いことの3つが挙げられました。これらの課題に対して、育児のための短時間勤務や男性育休の取得を促進する等、両立支援制度の拡充や活躍機会提供等、女性活躍を推進してきました。

Q

年次有給休暇取得促進にも力を入れていらっしゃいますね。

ゆとりある余暇の実現に向けて、積極的に奨励しています。半期ごとに所属別の年次有給休暇取得状況を公表し、所属長等から取得を促しています。平成26年度の69.2%から令和5年度86.6%まで取得率が上昇しました。

Q

女性管理職はどのように増えていきましたか？

まずは管理職を目指す土壌を作り始めました。管理職手前の係長職割合を増加させ、将来の女性店舗管理者(管理職)を養成することを目的に営業職に積極登用することを進めました。女性管理職の割合は平成26年度の3.1%から令和5年度の10.2%となっています。

Q

女性職員へキャリアアップの働きかけは行っていますか？

キャリア開発研修等を通じて、キャリアアップへの働きかけを行っています。研修だけではなく、身近な先輩がよい形で刺激を与えていることが一番の働きかけになっているのではないかと考えています。徐々に女性管理職が増加してきた

ことから、こうした先輩職員が目指すべきロールモデルとして活躍していることにより、後輩たちのキャリアアップ意欲を高める効果を生み出していると考えます。次第に男女の勤務年数の差も縮小してきました。

🗨️ 小南さんと杉浦さんにお聞きします。

Q

入社当時の様子をお聞かせください。

小南:窓口がいつも明るい雰囲気で働きやすそうという印象をもって就職しました。実際に明るい職員が多く、優しく業務を教えていただく雰囲気が良かったです。

杉浦:業務が多岐にわたり苦労することもありましたが、皆さん親切に教えて下さり、楽しく働くことができました。私が入庫した当時は男性が営業、女性が事務職と完全に分かれていました。

Q

明るく雰囲気の良い職場なのですね。

小南:せっかくだから楽しく仕事をしよう、目標に向けて支店全体で頑張ろう!という風土があると思います。ノルマは無くグループ内で話し合っ、それぞれの得意不得意を活かした個人目標を設定しています。上司部下関係なく目標達成に皆で協力して取り組んでいます。

Q

女性管理職が増えていく過程で印象に残っていることはありますか？

杉浦:涉外活動への抵抗や問題点はないか、管理職になった時の負担がどれくらい増えるかなど、アンケートを取りながら本部が慎重に進めてくれました。まずは少人数でやってみて、実際の声を聞きながら形態が変わっていったように感じます。

Q

仕事のやりがいと今後の目標を聞かせてください。

小南:お客さまの課題を解決し喜んでいただいで、自分の成績にもつながるとやりがいを感じます。いろいろなお客さまの人生に関われることが面白いです。営業になったことがきっかけで、ゆくゆくは課長、次長、支店長になりたいと思うようになりました。

杉浦:部下が大きく成長する姿や、自分の言葉で奮起して頑張ってくれる姿に強くやりがいを感じるようになりました。部下育成と子育てはリンクする部分も多く、最近脳神経や心理学の本を読んで勉強しています。人生の中で仕事に携わる時間は長いので、自分が関わって影響を与えてしまうことはすごいことだと思います。これからも部下の育成に真摯に取り組んでいきたいと思っています。

Q

先輩や上司にしてもらってうれしかったこと？

杉浦:新入職員の頃、質問に対して「あなたはもうどう思う?」と返してくれる上司がいました。自信はありませんでしたが自分の考えを伝えたと「その判断能力は君の長所だ」と言ってもらえました。それから「私はこういう判断でこう思っている」と自分の考えを伝える話し方を心がけているうちに、自分で考えて仕事をすることが身に付きました。

